

Shota Suzuki

# 鈴木 翔太 (聖隷クリストファー 2年)

投手 / 183cm69kg / 右投右打

涙の夏、屈辱の秋から埋伏の冬を忍ぶ  
快速右腕は甲子園のちプロのみ目指す



東海地区屈指の本格派右腕。今夏の県大会では優勝候補の静岡を撃破。準決勝では常葉学園橋相手に延長 14 回に力尽くも、その素材の良さに今秋はスカウトが集結した。魅力はバランスのいいフォームとしなやかな腕の振り。現在、140 キロ台前半のストレートに来年は 150 キロの期待がかかる。全国デビューが待ち遠しい。

Haruto Takahashi

# 高橋 遥人 (常葉学園橋 2年)

投手 / 180cm65kg / 左投左打

工藤公康氏を唸らせた美しいフォーム  
キレるストレートをリズムミカルに投げる



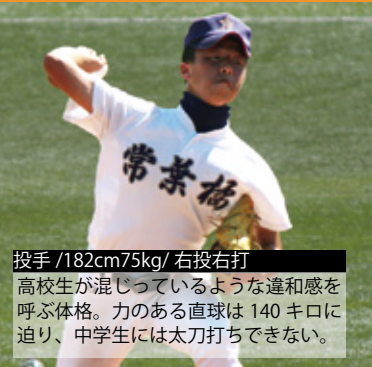
今夏、甲子園デビューを果たした静岡県 No.1 左腕。横から見ると弓をイメージさせる整ったフォームから低めに伸びるストレートを投げ込む。体はスリムだが、完投能力もあり。カーブとのコンビネーションでテンポよくアウトを積み重ねる。バットを内からきれいに振り抜くスイングでクリーンヒットを放つ打撃も魅力の一つだ。

# 静岡高校野球 東京野球ブックフェア特別号 覚えてほしいぞあ!

こんにちは！『静岡高校野球』編集部です。今夏、静岡の高校野球を楽しみつくすための本『静岡高校野球 2012』を出版しました。今日は、東京野球ブックフェアに来場された皆様に、ぜひ覚えて帰ってほしい静岡のプレーヤーたちを紹介します！

Takumi Onodera

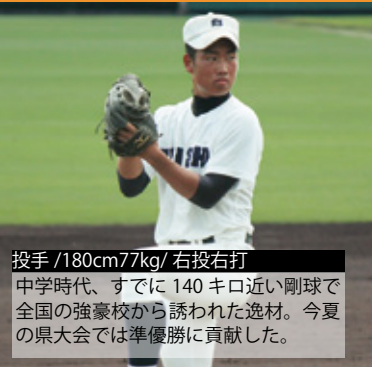
## 小野寺 拓海 (常葉学園橋中 3年)



投手 / 182cm75kg / 右投右打  
高校生が混じっているような違和感を呼ぶ体格。力のある直球は 140 キロに迫り、中学生には太刀打ちできない。

Ato Kunimatsu

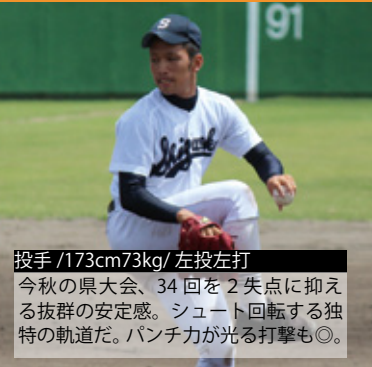
## 國松 歩 (静岡商 1年)



投手 / 180cm77kg / 右投右打  
中学時代、すでに 140 キロ近い剛球で全国の強豪校から誘われた逸材。今夏の県大会では準優勝に貢献した。

Ryo Suzuki

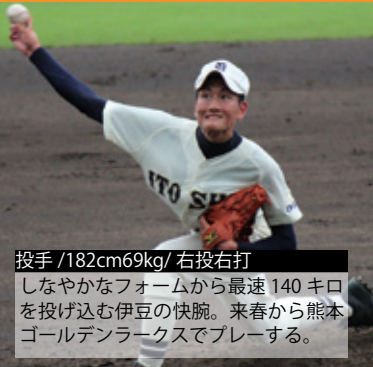
## 鈴木 亮 (静岡 2年)



投手 / 173cm73kg / 左投左打  
今秋の県大会、34 回を 2 失点に抑える抜群の安定感。シュート回転する独特の軌道だ。パンチ力が光る打撃も◎。

Daichi Takeyasu

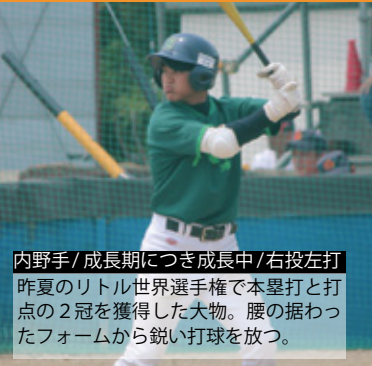
## 竹安 大知 (伊東商 3年)



投手 / 182cm69kg / 右投右打  
しなやかなフォームから最速 140 キロを投げ込む伊豆の快腕。来春から熊本ゴールデンラークスでプレーする。

Yoshiki Suzuki

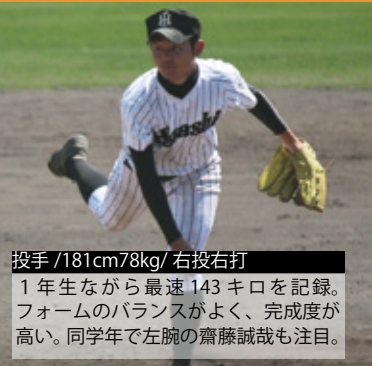
## 鈴木 嘉基 (浜松南シニア 南陽中 2年)



内野手 / 成長期につき成長中 / 右投左打  
昨夏のリトル世界選手権で本塁打と打点の 2 冠を獲得した大物。腰の据わったフォームから鋭い打球を放つ。

Hiroshi Suzuki

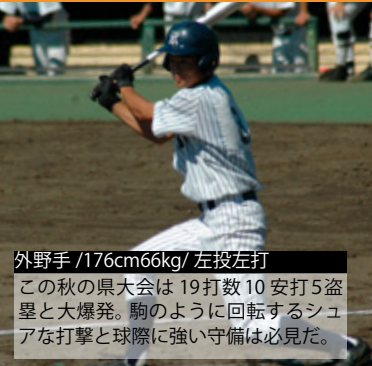
## 鈴木 博志 (磐田東 1年)



投手 / 181cm78kg / 右投右打  
1 年生ながら最速 143 キロを記録。フォームのバランスがよく、完成度が高い。同学年で左腕の齋藤誠哉も注目。

Keisuke Toji

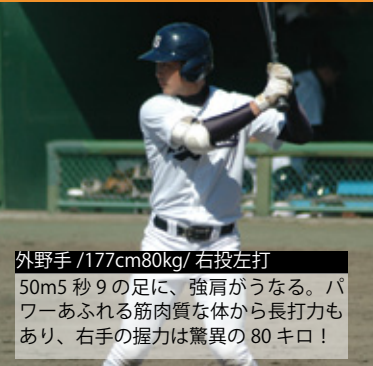
## 登地 慶輔 (常葉学園菊川 2年)



外野手 / 176cm66kg / 左投左打  
この秋の県大会は 19 打数 10 安打 5 盗塁と大爆発。駒のように回転するシユアな打撃と球際に強い守備は必見だ。

Shota Nakazawa

## 中澤 彰太 (静岡 3年)



外野手 / 177cm80kg / 右投左打  
50m5 秒 9 の足に、強肩がうなる。パワーあふれる筋肉質な体から長打力もあり、右手の握力は驚異の 80 キロ！



# 編集部イチオシ！馬鹿いい選手

「馬鹿」とは静岡の方言で、標準語でいう「すごく」、「超」にあたります。

この秋に観戦したなかで、もっともインパクトが強かったのが**藤本大輝**（浜名）です。182センチの長身に加え、鋭い腕の振りが特徴。上半身に頼ったフォームながら、指にかかったときの140キロ前後のストレートに高い将来性を感じます。野手では**大本聖也**（飛龍）が印象に残りました。ショートでの守備では捕手が投手へ返球する一球一球に必ずバックアップする元気の良さ。足の運びの軽快さとスローイングの強さも持ち合わせます。打撃もコンパクトに振り抜き、広角に長打を放ちます。また今年の静岡は1年生に好素材が揃いました。僕のイチオシは**鈴木悠矢**（富士市立）。今秋の地区大会では1試合5安打をマーク。軸のプレが少ないフォームで球種に関わらず対応でき、少しでも野手がもたつけば内野安打にできる脚力もあります。「静岡のイチロー」、誕生の予感です。

まず、高3では**尾崎資樹**（韮山）。シングルヒットを二塁打にする走塁は見ごたえがあります。逆方向に本塁打を叩きこめるパワーも必見！投手では、**小平倫敬**（川根）という左投手を推したいです。県内でも無名の存在かもしれませんが、肘が柔らかく腕の振りが速いんです。どちらも頭脳派なので、来年は大学でのプレーに期待したいです。高2では**岩間勇平**（御殿場西）。勝手に「御殿場のドカベン」と命名していますが、169cm89kgの体格から柔らかく広角にさばけるタイプ。高1では**木村聡司**（常葉学園橋）がイチオシです。ショートを守っていますが、投手としても溢れんばかりのセンスがあるので、来年は投球にも期待したいです。中3では野手としても素質を感じる**平野英丸**（対島中）、キレのあるストレートが光る**吉田一稀**（光が丘中）の両投手に来年は高校野球で暴れてほしいところです。



藤本大輝 (浜名)



大本聖也 (飛龍)



鈴木悠矢 (富士市立)



小平倫敬 (川根)



岩間勇平 (御殿場西)



木村聡司 (常葉学園橋)

## 東海大会出場決定

### 静岡県勢3校 先取りチェック

今秋の静岡県大会を制したのは投打に力を発揮した静岡（中部1位）だった。準優勝に常葉学園菊川（西部5位）、3位が飛龍（東部5位）。これによって、東海大会には東中西の各地区から1校ずつ参加することとなる。来春のセンバツは記念大会で東海地区は3枠。2年ぶりのセンバツ出場を狙う静岡県にとってもチャンスは大きい。しかし、静岡県は2011年春の東海大会から3大会連続で白星なしの状態が続いている。低迷する静岡県に、今秋こそは吉報をもたらしてくれるはずのチームを紹介する！

静岡1位

### 静岡高校

名門が昨夏以来の甲子園を狙う。夏前の故障で注目右腕の水野匠貴が出遅れるも、左腕の鈴木亮が台頭。中部地区大会から負けなしで秋の静岡を制した。野手もタレント揃い。50m5秒9の俊足を誇る菊池啓太郎、長打力が武器の滝浪和馬を筆頭にどこからでも得点を奪うことができる。筋トレと食トレで鍛え上げた各選手のゴツイ肉体で東海も制す！

静岡2位

### 常葉学園菊川高校

失敗を恐れない走塁、バントなしの積極果敢な攻撃で甲子園を席卷した常葉学園菊川が復活の兆しだ。今年もトップバッターの登地慶輔を中心に積極的に足を絡ませる。一方でバントも多用し、機動力で着々と得点を奪う。不安材料を挙げるとすれば投手力。右の堀田竜也、左の穂積大河は絶対的とは言えない。それだけに打線の爆発に期待がかかる。

静岡3位

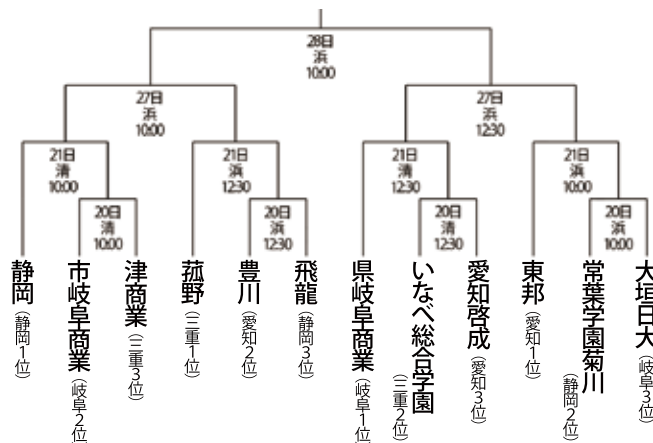
### 飛龍高校

今秋は東部地区大会で初戦敗退も、敗者復活戦から勝ち上がって県大会へ進出した。県大会では優勝候補の常葉学園橋を撃破したことで勢いに乗り3位へ。沼津学園から校名変更後は初となる東海大会出場を決めた。カギを握るのがエース右腕の河村克城。130キロ台後半を投げ込む本格派だ。不安な立ち上がりも乗り越えれば、強豪相手にも十分に戦える。

## 第65回秋季東海地区高校野球大会組み合わせ

2012年10月20日～28日

浜＝浜松球場、清＝清水庵原球場



『静岡高校野球』編集部では、静岡の野球を応援するブログ『静岡野球スカウティングレポート』を運営しています。静岡の高校野球、大学野球、社会人野球、はたまた静岡から他の都道府県に飛び立っていった選手たちの情報を掲載中！ぜひ下記のURLにアクセスしてみてください。

**BLOG**

静岡野球スカウティングレポート <http://tsukasa-baseball.cocolog-shizuoka.com/blog/>

**TWITTER**

静岡高校野球編集部 <http://twitter.com/shizuokabb>

**FACEBOOK**

静岡高校野球 <http://www.facebook.com/shizuokabb>

『静岡高校野球2012』はamazonにて好評発売中です！

来夏には『静岡高校野球2013』を出版予定。こちらも楽しみに！

